

KWANSEI GAKUIN  
SCHOOL OF THEOLOGY



関西学院大学

神学部報

No.122 2023.11

Contents

夏期実習報告2023	P.1-2
Mission in Dialogue 報告	P.3
学生の声 神学部で学ぶ	P.3
ユースキャンプ報告	P.4
MSセミナー2023報告	P.4
新入生の声	P.5
2023年度 秋季学術講演会	P.5
夏のオープンキャンパス報告	P.6
2024年度 神学部・神学研究科入学試験ご案内	P.6

Instagram



HCTHEOLOGICA

発行 関西学院大学神学部広報委員会  
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155  
電話 (0798) 54-6200 FAX (0798) 51-0936  
[https://www.kwansei.ac.jp/s\\_theology/](https://www.kwansei.ac.jp/s_theology/)

Facebook



# 夏期実習報告 2023

## 夏期派遣神学生

### 坂本 子龍 【学部】キリスト教伝道者コース

＜期間＞7月22日（土）～8月20日（日）  
 ＜場所＞日本基督教団 名古屋中央教会  
 日本基督教団 華陽教会  
 日本基督教団 小牧教会



私は7月22日（土）から8月20日（日）までの約1か月間、愛知県の名古屋中央教会と小牧教会、岐阜県の華陽教会に派遣されました。それぞれの教会での説教奉仕、教会キャンプへの参加、幼稚園での活動などに参加させていただきました。また地区での活動にも参加させていただき、

愛知西・東地区、岐阜地区の方々との交流も持つことができました。教会で生活し、長時間交流をさせていただく中で、「牧師は教会員の命を預かる仕事であり、牧師も命を懸けて臨まなければならない」ということを学びました。各教会の先生方がそれだけの責任を負いながら、身を捧げる姿を見て、自身の覚悟を問い直す時となりました。草地大作先生、日下部蒔恵先生、柳本伸良先生、田中郷史先生、そして教会員の皆様、この1か月間本当にありがとうございました。

### 草地 賢太 【学部】キリスト教伝道者コース

＜期間＞7月26日（水）～8月28日（月）  
 ＜場所＞日本基督教団 川内教会

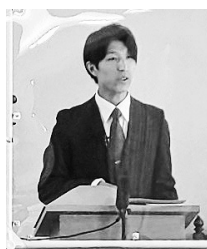


私は鹿児島県の川内教会とその付帯施設である認定こども園のぞみ幼稚園で夏期派遣実習の時を持ちました。主な実習内容は、幼稚園のお泊まり保育、鹿児島地区キャンプ、川内教会の子どもの教会キャンプへの参加などであり、全体を通して子どもたちと交わる時間が多く

与えられました。また、女性の会や役員会での証し、主日礼拝での説教奉仕を行いました。この実習は、新しく経験することばかりで、非常に実りのある期間でした。特に、キリスト教保育の現場では、キリスト教に基づいた考え方が子どもたちのこれからの歩みを支えるものになってほしいという先生方の想いに触れることができました。宣教の現場は様々な場所に存在することを実感しました。ありがとうございました。

### 潮田 真舟 【大学院】キリスト教伝道者コース

＜期間＞8月1日（火）～8月28日（月）  
 ＜場所＞日本基督教団 宇和島中町教会 日本基督教団 三瓶教会  
 日本基督教団 八幡浜教会 日本基督教団 多度津教会  
 日本基督教団 伊予吉田教会



夏期派遣神学生として愛媛県の宇和島中町教会、八幡浜教会、伊予吉田教会、三瓶教会、香川県の多度津教会に派遣されました。主日礼拝の礼拝説教を中心に、CS説教や教会員の方のご自宅への訪問、

附帯施設での教育活動なども経験させていただきました。さらに、八幡浜教会の森分信基牧師が代務を務めておられる伊予吉田教会にも訪問し、司式・説教の奉仕によって礼拝を捧げました。すべての場所で濃密な時間を過ごし、学びの多い豊かな夏期派遣となりました。特に教会が社会と共に歩むということ、より具体的に実感し、また説教者は信仰によって聴衆に語り、説教を神様に捧げるものであるということ、実際に語ることで改めて学びました。そしてその全ての奉仕を通して、常に宣教の最前線に立っているという恵みを肌で感じました。この夏期派遣で受けた愛と恵みのバトン、今後の歩みの中で次の人へと繋げていきたいと思えます。関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 吉澤 和海 【大学院】キリスト教伝道者コース

＜期間＞8月4日（金）～9月3日（日）  
 ＜場所＞日本基督教団 広島流川教会  
 日本基督教団 広島府中教会



私は夏期派遣神学生として広島流川教会と広島府中教会で実習をさせていただきました。実習初日からサーロー節子さんにお会いし、8月6日（日）には平和記念公園での追悼行事に出席し、8時15分を迎える経験をしました。教会では礼拝での説教奉仕や諸集会への出席を通して、教会

員の皆さんとの貴重な出会いを得ました。教会員の皆様からは、広島風の土や信仰の歩みを教えていただき、貴重な交わりの時間を持ちました。また、実習の間は常に原爆を意識させられました。どこに行っても爆心地との距離を考え、大木を見ては「この木も78年前には無かったのか」と思う日々でした。また、教会の資料を整理し、当時の生の声に触れ、教会の歩みを知りました。1か月間、貴重な出会いをくださった広島の皆様と神さまに感謝いたします。

## 酒井 晋弥 【大学院】キリスト教伝道者コース

<期間>8月5日(土)～8月27日(日)

<場所>日本基督教団 香住教会 日本基督教団 城崎教会  
 日本基督教団 朝来教会 日本基督教団 竹野伝道所  
 日本基督教団 但馬日高伝道所 日本基督教団 浜坂教会  
 日本基督教団 豊岡教会



8月5日(土)から8月27日(日)まで、兵庫教区但馬地区に、夏期派遣神学生として派遣されました。豊岡教会に到着してすぐに、但馬日高伝道所牧師・但馬地区長の山本桂子先生、豊岡教会牧師の小林聖先生から実習の説明を受けました。そこで示された今回の実習の目的は、香住教会に滞在しながら土・日曜日に但馬地区の教会をお訪ねし、説教奉仕などを通じて、地区の牧師の働きを自ら体験するということでした。まず5日(土)は城崎教会の礼拝で説教(場所は豊岡教会の礼拝堂)をし、6日(日)午前中は浜坂教会の礼拝に出席し、午後は香住教会で説教を行いました。以後、豊岡、竹野、朝来、但馬日高、と教会を訪ね、それぞれの教会で説教を行いました。どの教会でも、温かくお迎えいただき、私の拙い説教に熱心に耳を傾けてくださり、私自身が祈りを新たにされる日々でした。但馬地区の教会の皆様、先生方、本当にありがとうございます。

## 日下部 光喜 【大学院】キリスト教伝道者コース

<期間>8月9日(水)～8月31日(木)

<場所>日本基督教団 下落合教会



私は東京都にある下落合教会へ夏期派遣神学生として遣わされました。実習では、教会での説教奉仕に加えて、併設している下落合みどり幼稚園での保育に参加する機会が与えられました。また、近隣の教会や神学校、キリスト教の関係施設への訪問、平和のための集会、地域で行われている活動など、様々な活動や平和運動に参加しました。普段では味わうことのできない経験をさせていただきました。与えられた交わりの中で、教会の方々や、それぞれの活動、運動に携わる方々の想いや熱意に触れることができ、今後、牧師を志す私にとっての大きな励みになりました。今回、夏期派遣神学生として受け入れてくださった下落合教会の皆様、有住航先生とご家族、お忙しい中お会いして下さった方々一人ひとりに心より感謝申し上げます。

## 臨床牧会実習

<事前講義>8月10日(木) 於 上ヶ原キャンパス

<実習>8月21日(月)～8月25日(金) 於 大阪暁明館病院

<事後講義>8月28日(月) 於 上ヶ原キャンパス

## 平松 麻那 【大学院】キリスト教伝道者コース



平松さんと患者さんの目線を体験する福留さん

臨床牧会実習では、患者様の訪問やスーパーバイザーとの振り返りを行い、自分の設定した課題に向けて考えを深めました。実習を通して強く感じたのは、「なぜ自分はこの場にいるのか」という事でした。苦しみの中にある患者様の前で、何もできない自分を突きつけられました。患者様が痛みを苦しむ声を聴きました。この場に立たされて、目の前の患者様に自分は何ができるのかははっきりと分からずにいました。しかし牧会者として自分は今ここにいるのだから、自分とこの患者様との関係の中に神が共にいるという確信を持って患者様の声を聴き、苦しみの中にある魂を神の平安へと導くことが、今与えられている課題なのだ気づかされました。この実習で得られた学びを基に、牧会者としてどのように歩むのかを常に考えつつ励みます。

## 福留 洋平 【大学院】キリスト教伝道者コース



この夏、私は夏期に集中して開講される「臨床牧会実習」を履修致しました。実習中は、緩和ケア病棟で過ごされている患者さんとの面談を中心に、先生方や病院の理事長による講義を受けたり、院内での礼拝・説教を担当したりして、濃密な時間を過ごしました。今回の実習は、自分の信仰、自分と神様との関係を考える貴重な機会になったと思います。病床で死を間近に、痛みを抱える患者さんと毎日話をしました。1日、2日と実習が進むにつれ、平静を装う自分が崩れていくのを感じました。「私」がどのように思い、「私」は患者さんの話をどのように聞き、話すのか、そんな「私」に縛られていることも自覚しました。実習全体を通して、自分達の信仰や内面に踏み込むような話し合いも多くありました。にもかかわらず、躊躇いや恥ずかしさを覚えずに対話できたのは、先生方、患者さんや講師の皆様、一緒に受講した平松麻那さん、そしてその場を備えてくださった神様のお陰だと今は思います。今回の経験を糧とし、献身への思いを新たに、学び続けたいと思います。

## Mission in Dialogue 報告

キリスト教思想・文化コース3年 濱田 絢瑛

この度、神学部主催のプログラムである Mission in Dialogue Aに参加させていただきました。プログラム実現のためにご尽力くださった韓国と日本の皆様に心から感謝申し上げます。韓国でのフィールドワークを通して韓国の文化や歴史について多くを学ぶことができました。私にとって特に印象深かったのは現地の人々との交流でした。遠く離れた韓国という場所で、今日も日本のために祈ってくださっている方がいるという事実は、私に感謝の思いと希望を与えてくれました。国家間での戦争や対立が未だに存在するこの世界において、文化や出自の異なる人々のためにどのように祈ることができるでしょうか。今回のプログラムにおける人々との交流によって、そういった当事者意識を忘れることなく生きる大切さに気づかされました。



キリスト教思想・文化コース4年 濱名 佳純

8月4日(金)から7日(月)にかけて韓国の監理教神学大学の学生と共に韓国の歴史とキリスト教について学びました。今回のプログラムは、監理教神学大学の学生、先生、伝道師をはじめとする多くの方々のご協力のおかげで実現しました。心から感謝申し上げます。私は複数分野専攻制度を用いて4月から神学部に編入学をしたものの、クリスチャンとして葛藤や疑問をもったために、勉学に意欲的に取り組めないままでした。しかし、プログラムの中で様々な人々と出会うことで、多くの人が葛藤しながらも神様を信じ、答えを模索している事に気付きました。その探求し続ける姿勢に励まされ「一人ではない」という安心感を与えられました。悩み続ける自分自身を認められずにいましたが、葛藤しながらも夢を実現するために尽力する私でありたいと強く思いました。



## 学生の声 神学部で学ぶ



キリスト教思想・文化コース3年 佐伯 麻由子

### Q1. 神学部に入学したきっかけは？

以前から彫刻や西洋絵画などに関心があり、そのような宗教画の多くはキリスト教がテーマとされていることを知り、キリスト教と芸術の授業に興味を持ったからです。

### Q2. 現在神学部で興味を持って学んでいることは？

「天使と悪魔」、つまり「善と悪」という二極化した存在の現代的意味を問う授業がとても面白く、興味を持ったことから、西洋美術や哲学・心理学、また漫画やアニメなどのサブカルチャーとキリスト教を結びつけて現代的意味を考えるゼミを志望しました。4月から新しく始まったゼミでは、芸術と神学を結びつけて、身近に神学を取り入れた研究を進めています。

### Q3. 将来の夢や目標は何ですか？

今のところ具体的に進路が決まっている訳ではないのですが、メーカーなどの一般企業に就職して、人々の暮らしを少しでも豊かにしたいと考えています。

KG キャリア入門という授業を受講して実際に社会に出て働いている方のお話を聞いたり、インターンシップに関するホームページを見たりと、少しずつ将来について考え始めているところです。

### Q4. 神学部生、神学部入学を目指している受験生に対してメッセージをお願いします。

私はクリスチャンではないうえ、キリスト教系列の学校に通っていた事もなく、キリスト教の知識が全くない状態で入学しました。聞き馴染みのない単語や、初めて見る聖書の読み方に戸惑う事も多くありましたが、たくさんの方と出会い、様々な事を学びました。神学部は、学生だけでなく先生方とも距離が近く、とても素敵な方々ばかりです。ぜひ私たちと一緒に学んでみませんか。

## ユースキャンプ報告

井上 智 助教

第40回関学ユースキャンプが8月3日(木)から4日(金)にかけて関西学院千刈キャンプを会場にもたれました。特筆すべきことは、2019年度の宿泊開催以降、コロナ禍後初の宿泊を伴った開催となったことです。スタッフ、関係各位のご協力のもと無事に終えることができました。参加者7名、スタッフ8名(学生スタッフ2名含む)、合計15名で実施いたしました。講師には小林よう子先生(八戸小中野教会牧師)をお迎えしました。

キャンプ主題は「信じるってどういうこと?」と題し小林先生の講演を2日間にわけて行い、参加者は真剣に耳を傾けていました。プログラムは千刈キャンプを存分に用い、自然散策、キャンプファイヤー、花火などを楽しみました。

2日目は、千刈キャンプをあとにし、神学部へ移動。神学部で学ぶこととはどのようなことなのか等を学生スタッフから聞く「神学部の紹介」の時、参加者が今考えていることを分かち合う「グループトーク」、図書館、時計台、日本庭園などを巡る「キャンパスツアー」、生協の食堂に行つての「昼食」などを楽しみ、最後に小林先生の講演をお聞きした後、感想の分かち合いを行い、毎回恒例のスタッフから参加者一人ひとりを覚えての祈祷がなされ、プログラムを終えました。



## MSセミナー2023報告

MSセミナー企画・運営委員長 土井 健司 教授

神学部を卒業した同窓牧師・教師を対象に、5年目、10年目の節目に集う場として始まったMSセミナーも、今年で6回目を迎えました。今回は10年目として小片聡(福山東教会)、神田道隆(鎮西学院大学)、高木愛(神戸北教会)、樋川一幸(大阪常磐天下茶屋教会)、南部正人(大町教会)、柳川真太郎(日本聖公会信徒宣教師)、5年目として尾崎武蔵(卯之町教会)、山内慎平(神戸栄光教会)、以上8名(敬称略)の参加がありました。迎えるスタッフとして新たに、村岡博史先生(塚口教会牧師)、古澤百代先生(神戸東部教会牧師)、そして神学部から井上智助教に加わっていただきました。今回、講師をお願いしたのは、神学部の芦名定道教授、奥羽教区書紀であり下ノ橋教会牧師の松浦裕介先生、そして青山学院神学科を卒業後、鶴川北教会の開拓伝道をなさり、今は隠退教師となっておられる牧野信次先生でした。

コロナ禍を経て久しぶりに3日間のプログラムを準備し、セミナーに臨みました。聖餐式を伴う閉会礼拝を含めて、問題なくプログラムを終えることができました。芦名教授は「現代日本と宗教状況とキリスト教」と題してご講演くださり、中でも「子どもは妨げないなら自然と信仰者である」との指摘は興味深いものでした。松浦先生は会堂建築を含めた教会運営について、ご経験を魅力的に話してくださいました。そして牧野先生は慈愛に満ちた言葉で、ご自身の牧会生活を含めて世のための教会、ネガティブ・ケイパビリティの重要性などをお話してくださいました。参加者同士のリユニオン、説教討議など、最終日は参加者それぞれがビジョンを語り、別れを惜しみつつ閉会となりました。



## 新入生の声

### キリスト教伝道者コース1年 後藤 映



神学部の学生は個性的な人が多く、刺激のある学生生活を送っています。神学部での学びはノンクリスチャンの人でも分かりやすいように、先生が身近なテーマから掘り下げて考えているように感じます。宗教的体験や、神に対するイメージは人によって違います。その隔りがある中で、キリスト教は聖書を軸として成り立っています。だからこそ、私は学舎を共にする仲間と、神学のプロフェッショナルである先生方と、またこの世界の創造主である神との関わりを通して、聖書に基づいた自分の神学を構築していきたいと思っています。

### キリスト教思想・文化コース1年 福井 枝葉



私は、宗教がなぜ争いを起こすのかということについて学びたいと思い、神学部に入學しました。世界的に見ても日本人は宗教にあまり関心がありません。しかし、神学部で約半年間学び、宗教は人間を知り、生きる上でとても重要なものであると感じています。神学部でキリスト教を学ぶ中で、宗教は深く面白く感じる瞬間が多くありました。神学部の授業や学生生活の中では、今まで私が考えたこともなかった新しい視点を、学部の仲間や教授が教えてくださいました。生きる上で大切にしたいキリスト教精神を周りから得られることも多く、毎日が刺激的で、とても楽しい学生生活を送ることができています。

## 秋季学術講演会

## 「アウグスティヌス -私の内よりさらに内なる神を求めて」

片柳 榮一 京都大学名誉教授

2023年10月13日 於:関学会館 光の間 報告者:小田部 進一 教授

10月13日(金)に京都大学名誉教授の片柳榮一氏をお迎えし、秋季学術講演会が開催されました。アウグスティヌスが、その生涯を通して思索と信仰を深めていく様子が具体的なテキストから読み解かれる講演でした。以下は講演内容の要約です。

「信じること」と「疑い、批判すること」はどのように関係しているのでしょうか。パスカルは『パンセ』の中でアウグスティヌスを参照し、「理性が服従しなければならぬ」と自ら判断する時に、それが服従するのは、正当である」と述べています。服従とは信じることを意味しています。つまり、理性的であることと信じることは、対立するのではなく、信じるのが先行することを理性自身が納得する、自分が納得して信じるということがあるということです。では、先行する信仰の理性による納得は



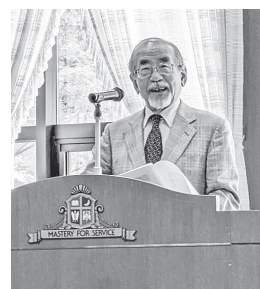
どのように起こるのでしょうか。

『真の宗教について』の中で、アウグスティヌスは、「外に行くな、汝自身の内に帰れ、内的人間の内に真

理は宿る。そしてもし汝の本性がうつろい易いものであることを見出したなら、汝自身をも超越せよ」と述べています。すなわち、「私」からすべてがはじまるが、自己の内側から自己を超越し、真理の光に照らされるということです。

注目されるべきことは、実存哲学者たちによって評価されてきたように、アウグスティヌスによって初めて、人間の「うつろい易さ」、すなわち、人間の弱さ、そして不安が、単なる否定ではなく、「あなた(神)に向けて創られた」(『告白』)という積極的な意味で表現されていることです。

アウグスティヌスは、このうつろい易い自己の内奥へと向かい、「私の最も内なるところよりもっと内に(interior intimo meo)」居ます神を見出し、しかし、それが神の導きによることを認めているのです。『三位一体論』の表現を用いるならば、「人は神を想起せしめられ、主に還って行くようにし向けられる」仕方で、神を想起す、神を知るということです。



## 夏のオープンキャンパス報告



8月5日(土)、6日(日)に関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスでオープンキャンパスが開催されました。神学部では橋本祐樹准教授が「宗教を神学する」と題し、また、浅野淳博教授が「古代地中海世界を歩こう:ギリシャ編・ローマ編」と題して模擬講義を行いました。神学部独自プログラムとしては、森本典子専任講師による「キリスト教で人は幸せになれるのか?」と題したイベントと、水野隆一教授監修による「KG Valuable Bibles——関西学院所蔵の貴重聖書」と題した学部イベントが実施されました。各回とも30名近くの高校生らが集い、模擬講義では熱心に教員の話に耳を傾け、イベントではキリスト教に関するクイズや貴重図書等に触れながら、神学について学びました。

## 2024年度 神学部・神学研究科入学試験ご案内

## 神学部・神学研究科入試日程

※各入試の最新情報及び詳細については以下のWEBサイトからご確認ください。  
<https://www.kwansei.ac.jp/admissions/>

＜お問い合わせ先＞ ■ 関西学院大学神学部 Tel.0798-54-6200 ■ 関西学院大学入学センター Tel.0798-54-6135

## ■ 神学部

		出願期間	試験日
一般入試	全学部日程	＜インターネット出願＞ 2024年 1月 4日(木)～1月17日(水) ～23時まで	2月 1日(木) 2月 2日(金)
	学部個別日程		2月 4日(日) 2月 7日(水)
	共通テスト併用日程(英語)	＜出願書類郵送＞ 2024年 1月 4日(木)～1月17日(水) [当日消印有効]	2月 7日(水)
大学入学共通テストを利用する入試	1月出願	＜インターネット出願＞ 2024年 1月 4日(木)～1月12日(金) ～23時まで ＜出願書類郵送＞ 2024年 1月 4日(木)～1月12日(金) [当日消印有効]	【大学入学共通テスト実施日】 1月13日(土) 1月14日(日)
	3月出願	＜インターネット出願＞ 2024年 2月24日(土)～3月11日(月) ～15時まで ＜出願書類郵送＞ 2024年 2月24日(土)～3月11日(月) [当日消印有効]	

## ■ 神学研究科

## ＜博士課程前期課程＞

		出願期間	試験日
第2次	一般	2月 8日(木)	2月23日(金)
	社会人	2月15日(木)	
	外国人留学生	(期間内必着)	

## ＜博士課程後期課程＞

		出願期間	試験日
後期課程	一般	2月 8日(木)	2月23日(金)
	外国人留学生	2月15日(木) (期間内必着)	2月24日(土)



## 浅野 淳博

『新約聖書の時代: アイデンティティを模索するキリスト共同体』  
(教文館、2023年)



新約聖書の背景となる歴史と社会を見わたす、いわゆる「新約時代史」に関する著書です。列強の支配下であえぐパレスチナに生まれたイエスの神の国運動が、ユダヤ戦争を契機としてどのようにそのアイデンティティを形成したか、そしていかにして後2世紀なかばにキリスト教という独自の宗教としての道を歩み始めたか、多くの図版とともにわかりやすく解説します。また歴史から学んで今をいかに生きるかという適用に読者を招きます。

## 関西学院大学神学部 第25回 キリスト教教育研究集会のご案内



関西学院大学神学部では、かねてから学校教育におけるキリスト教主義教育の重要性を認識して、その中心的役割を担う聖書科教師の育成に努めてまいりました。この研究集会は、今日の聖書科教師が直面している様々な課題を明確に自覚し、その解決の方法を具体的に作り上げていくことを目標としています。下記の要領で、第25回の研究集会を開催いたします。キリスト教教育を担当なさる多くの方が参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

※お問い合わせは12月18日(月)16:00まで受け付けております。  
神学部補佐室 Tel.0798-54-6207

- ◆講演 ----- 『聖典を訳すこと、聖典を読むこと』
- ◆講師 ----- 浅野 淳博 氏(関西学院大学神学部)
- ◆現状報告 ----- 福万 広信 氏(関西学院初等部)
- ◆とき ----- 2023年12月25日(月) 12:30~17:45
- ◆ところ ----- 関西学院初等部
- ◆申し込み締切日 ----12月4日(月)必着

## 関西学院大学神学部 第58回 神学セミナーのご案内



コロナ禍は、21世紀にますます深刻化する高齢化と少子化、経済格差と貧困、地域コミュニティの崩壊と人々の孤立や不安といった社会の諸問題をよりいっそう浮彫にしました。これらの問題は、地域により具体的な様相は異なりますが、地域の中にある教会が直面している課題でもあります。地域と共に歩む中で、キリスト教の教派を問わず、教会間の連携や合同、地域との連携等が模索されています。今回のセミナーでは、地域における教会の課題を、神学的な視点、個々の教会の現場の視点、そしてエキシユメニカルな意見交換を通して様々な角度から捉え、明日の地域と教会についてともに考えたいと思います。

- ◆主題 --- 「明日の地域と教会」
  - ◆日時 --- 2024年2月19日(月)9:30-17:30
  - ◆場所 --- 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスF号館  
(対面・オンライン併用)
- 主題講演:浅野 淳博 氏(関西学院大学神学部教授)  
招待講演:大石 周平 氏(日本キリスト教会多摩地域教会牧師)  
現場報告:向井 希夫 氏(日本基督教団広島流川教会牧師)  
東島 美穂 氏(日本基督教団大阪城北教会牧師)  
宮本 幸男 氏(日本基督教団香櫨園教会牧師)
- 神学講演:橋本 祐樹 氏(関西学院大学神学部准教授)

2023年度春学期(4月~9月)  
神学部日誌

- 4/ 1 岩野祐介教授、神学部長に就任  
大学院入学式
- 4/ 3 大学入学式
- 4/10 春学期授業開始(学部・大学院)  
始業礼拝・始業講演(芦名 定道 教授)  
「『心』から宗教を問う」
- 4/12 神学部イースター礼拝(小田部 進一 教授)
- 4/19 GPA制度による成績優秀者顕彰礼拝・  
山内奨学金授与礼拝
- 4/26 神学研究会(東 よしみ 准教授)  
「リチャード・B・ヘイズ著、東よしみ訳  
『パウロ書簡にこだまする聖典の声:  
パウロは「旧約」聖書をどう読んだか』  
(日本キリスト教団出版局、2023年)を巡って」
- 5/24 神学研究会(中道 基夫 教授)  
「Spiritual CommunionとOnline Communion」
- 5/25 神学部・神学研究科人権研修会  
(宮川 眞一 氏 医療法人鶯友会牧病院医師)  
「何を如何に一私たちのできること  
~SDGsをベースとした海外医療協力の視点から~」
- 5/29 神学部ペンテコステ礼拝(中道 基夫 教授)
- 6/ 7 神学部神学研究科学術奨励基金各種奨学金授与礼拝
- 6/21 神学部チャペルコンサート
- 6/28 神学研究会(橋本 祐樹 准教授)  
「現代実践神学の課題と実証研究の位置」
- 7/21 春学期授業終了(学部・大学院)
- 7/26 神学研究会(芦名 定道 教授)  
「脳科学とキリスト教思想との接点を求めて」
- 7/26 修士論文中間発表(大学院博士課程前期課程)
- 7/26~8/2 春学期定期試験
- 8/3・4 第40回関学ユースキャンプ
- 8/5・6 オープンキャンパス
- 8/6~9/19 夏季休業
- 8/22~24 MSセミナー2023
- 9/ 2 教育懇談会
- 9/16 春学期大学卒業式・大学院学位記授与式
- 9/20 秋学期授業開始(学部・大学院)
- 9/30 神学基礎テスト

## ■卒業生のみなさまへ

- ◆ホームページのリンクに関するお願い  
神学部のホームページでは、主に学生や多数の本学関係者に教会活動について幅広く知ってもらうため、本学部・研究科のOB・OGの方々が牧師や伝道師として在籍する教会名や教会ホームページへのリンク先を紹介しております。  
神学部 > 進路・資格 > OB・OGの在籍する教会・施設  
(<https://www.kwansei.ac.jp/r/church/>)  
貴教会においてホームページを開設していらっしゃる場合は、ぜひ神学部までお電話でご連絡ください。また貴教会から神学部ホームページへのリンクも歓迎いたします。  
■リンク先URL ([https://www.kwansei.ac.jp/s\\_theology](https://www.kwansei.ac.jp/s_theology))
- ◆住所・勤務先変更ご通知のお願い  
近年、神学部からの卒業生の皆様宛郵便物(神学部報・後援会だより・講演会開催案内等)が転居先不明で返送されることがあります。ご転居の際には、ぜひ神学部事務室までご一報ください。  
※ご提供いただいた個人情報を第三者に開示することはありません。